

理工学図書館のご紹介



こうちゃん

大阪大学理工学図書館についてご紹介します！



■大阪大学附属図書館について

- 大阪大学には、豊中、吹田、箕面の3つのキャンパスがあり、4つの図書館があります。
 - 総合図書館（豊中キャンパス）
 - 生命科学図書館（吹田キャンパス）
 - 理工学図書館（吹田キャンパス）
 - 外国学図書館（箕面キャンパス）
- 工学部の1年生は主に豊中キャンパスで授業を受けるため、総合図書館を利用しています。2年生からは吹田キャンパスの理工学図書館を利用します。
- 附属図書館全体で、約367万冊の図書と約72,700タイトルの雑誌を所蔵しています。（2024年時点）
- 約35,000タイトルの電子ジャーナル、約41,700タイトルの電子ブックも利用可能です。場所や時間を問わず、必要な情報にアクセスできます。

■理工学図書館について

- 理工学図書館の主な利用者は、工学部2年生以上の学部学生、工学研究科の大学院生、教職員です。
- 所蔵資料は工学分野のものがほとんどです。図書は約27万冊、雑誌は約7,100タイトルあります。
- 資料の閲覧・貸出だけでなく、みんなで議論できるスペースもあります。

図書館でできるのは資料を読む・借りるだけではありません！



りっちゃん

■理工学図書館の施設案内

通常の座席に加えて、次のような施設があります

- ラーニング・コモンズ：相談しながら学習できる、主体的な学びのためのスペースです。プレゼンテーションに便利な機器も多数取り揃えているため、授業やゼミにも活用されています。理工学図書館には2つのエリアがあります。
 - ・西館1階 TPSCo Commons
 - ・東館1階 Sky Innovation Studio
- そのほかにも便利な施設があります。
 - ・西館1階 スピーキングブース（1名）
 - ・西館2階 グループ学習室（10名まで）
 - ・西館2階 会議室・研修室（20名まで）
 - ・西館3階 図書館ホール（100名まで）
 - ・東館3階 研究個室（1名）

館内ツアーと理工学図書館の
使い方の動画はこちらから♪



おたまちゃん

■東館1階 Sky Innovation Studio ■西館1階 TPSCo Commons

自習エリア、グループ学習エリア、
プレゼンテーションエリアがあります。



グループ学習エリアと阪大生が自由に使える
パソコンエリアがあります。



■西館2階 グループ学習室

3名以上で利用できるグループ学習や
ディスカッション用の部屋です。



■西館2階 会議室・研修室

6名以上で利用できるグループ学習や
ディスカッション用の部屋です。
ゼミにも利用されています。



■東館3階 研究個室

1名用の個室です。
静かに勉強したい時に利用できます。



■西館3階 図書館ホール

講義やセミナー等の活動に利用できます。
100名収容できます。

